

第 14 回

一

関

市

景

観

ま

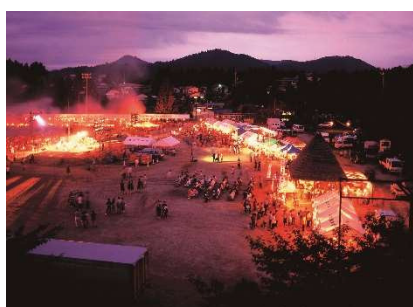
ち

づ

く

り

賞



令和 7 年度
一 関 市

一関市景観まちづくり賞について

一関市景観まちづくり賞は、一関市景観まちづくり条例第 23 条の規定に基づき、地域の魅力ある景観を守り育て、次世代へ継承するため、優れた景観形成に貢献している建造物等及び市民等の景観まちづくりに寄与する活動等を表彰し、それに携わる人々の努力をたたえることで、市民、事業者の景観まちづくりに対する意識の高揚と景観の質の向上を図るとともに、景観まちづくり活動を促進することを目的に行うもので、平成 22 年度からスタートした制度です。

一関市景観まちづくり賞

◆賞の選考・決定

一関市景観審議会では表彰対象を選考し、市長が決定

◆選考基準

- (1) 周囲の街並みや自然環境との調和を図り、地域の優れた景観づくりに寄与しているもの
- (2) 創意工夫、努力により優れた景観を創出しているもの
- (3) 歴史や文化が感じられ、地域に親しまれているもの
- (4) 景観づくりに対して先導的な役割を果たしているもの
- (5) その他景観まちづくりに特に寄与しているもの

◆景観部門

周辺景観と調和し、優れた景観の形成に寄与している建築物、工作物、外構、緑化、屋外広告物その他の物件又はこれらの複合体

※建築物等の完成年度、工法は問わない

◆まちづくり活動部門

継続的に地域の特性を生かした良好な景観の創出や保全などを行い、景観形成に貢献していると認められる活動を主体的に行っている個人又は団体

※概ね 3 年以上継続して活動しているもの

◆募集期間

第 14 回 令和 7 年 4 月 1 日から令和 7 年 7 月 31 日まで

◆応募状況

- ・景観部門 2 物件
- ・まちづくり活動部門 なし

◆景観部門 受賞物件（敬称略）

名 称：	株式会社プレステージ・インターナショナル 岩手 BPO フォートレス
住 所：	一関市真柴字矢ノ目沢 64-2
用 途：	事務所
事 業 主：	株式会社プレステージ・インターナショナル 代表取締役 玉上 進一
設 計 者：	株式会社フジター級建築士事務所
施 工 者：	株式会社フジタ東北支店
完 成 年：	令和6年6月
名 称：	ガーデンカフェ kirara
住 所：	一関市藤沢町新沼字石合 30-1
用 途：	ドッグラン併設カフェ
事 業 主：	きららエステート株式会社 代表取締役 玉澤 法子
設 計 者：	玉澤建設建築設計事務所
施 工 者：	有限会社玉澤建設
完 成 年：	令和7年3月31日

◆景観部門

○ 株式会社プレステージ・インターナショナル 岩手 BPO フォートレス

この建物は、一関市の名勝「厳美溪」から着想を得て、自然の美しさを反映した形となっています。

厳美溪の岩や流れる川を意識したデザインは、周囲の景観に溶け込み、地域の魅力を引き立てられるよう設計いたしました。

また、建設地が高台に位置することも考慮し、配色や形状は地域の自然と一体感を持ち、調和を大切にしています。

事業主：株式会社プレステージ・インターナショナル 代表取締役 玉上 進一

設計者：株式会社フジター級建築士事務所

施工者：株式会社フジタ東北支店

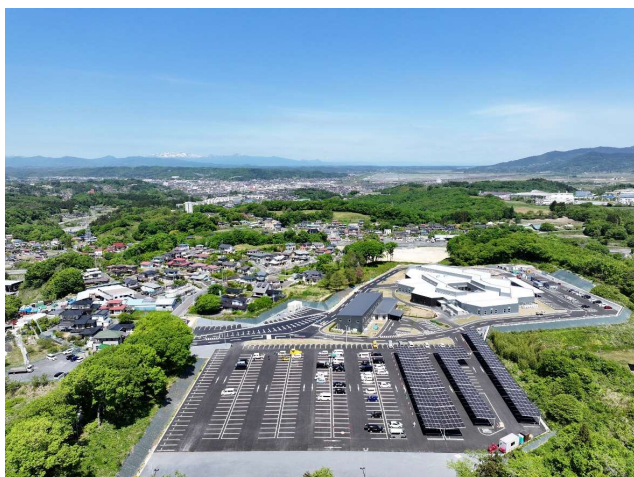


拠点コンセプト - VALLEY -

一関市にある名勝 厳美溪^{げんびけい}の景色を造り上げる個性豊かな巨石から「人々の多様性」を、美しい溪流から「人々の交流」を、インスパイアしました。
自然の中で生み出す「人でしかない」価値が、VALLEYに新しい風を吹き込みます。
※厳美溪とは、栗駒山から一関市内へと流れる磐井川^{いわいがわ}の浸食により形成された溪谷、国の天然記念物に指定されている。

形状の面白さと機能性を両立 - STONE -

執務や打ち合わせ、休息など、人々が時を過ごす空間は、それぞれ多面体である石のような個性的な形状となっています。四方八方から光が取り込めるように配置した窓を通して、時と共に表情を変える自然の移り変わりを感じることができます。



◆景観部門

○ ガーデンカフェ kirara

令和 7 年 4 月、藤沢町北部、商業施設が点在する国道 456 号線沿いに、ドッグランを併設した「ガーデンカフェ kirara」をオープンいたしました。周囲の風景にやさしく溶け込むよう設計された空間は、訪れる方々に心地よい安らぎをもたらします。

約 2,800 m²の広々とした敷地の中央には、約 700 m²の芝生広場を配置。営業時間内はどなたでも気軽にご利用いただけます。

芝生広場にはベンチを設け、カツラ、モミジバフウ、シラカバ、アオダモ、エゴノキ、モミジ、ヤマボウシ、ドウダンなど、多様な樹木を丁寧に植栽。春のやわらかな新緑から、秋の深まる紅葉まで、四季の移ろいを身近に感じられる景観を創出しています。

また、芝生広場の奥には、落ち着いた雰囲気のアラサ席を備えたカフェと、約 700 m²の洋芝を用いたドッグランを併設。季節の風を感じながら、愛犬とともにくつろぎの時間を過ごしたり、コーヒーや軽食を片手に心満たされる穏やかなひとときを楽しんだり、それぞれのペースでお過ごしいただけます。

自然と調和した環境の中で、ガーデンカフェ kirara は、地域の皆さまにとって、憩いの場とやすらぎの場、集いの場を提供しています。

事業主：きららエステート株式会社 代表取締役 玉澤 法子

設計者：玉澤建設建築設計事務所

施工者：有限会社玉澤建設



◆一関市景観審議会、北原啓司会長からのメッセージ

「株式会社プレステージ・インターナショナル岩手 BPO フォートレス」は、応募資料を拝見すると、空からの視点は私たちの日常の目線とは異なりますが、地域の新たな象徴としての存在感がありました。

特に、かつての病院跡地をうまく整備し、緑を活かして建物を配置している点、そして周囲の自然環境とうまく調和した美しい空間が生まれているという点は、素直に評価していいと思います。

実際に現地に行ってみて、「入ってみたいな」と思わせるような雰囲気がありましたし、カフェは地域の方へ開放しており、ある委員からは「ここで働いてみたい」とまで声が上がったほどです。それってすごく大事なことだと思います。これから木々が育ち、花壇なども整えば、より自然に溶け込んで、魅力がさらに増していくのではないのでしょうか。

設備機器の見え方など改善できる部分はありますが、太陽光発電をカーポートの屋根に設置するなど、環境へも配慮されていますし、何より土地の再利用という点も含めて、新しい地域の拠点としてふさわしいと感じました。全体として、受賞に値すると思います。

「ガーデンカフェ kirara」は、景観まちづくり賞が期待している景観とは、まさにこういうものなのだろうなと感じました。パチンコ店の跡地であった時のイメージと今のイメージではあまりにも違うと思います。それをしっかりと見せてくれているところがとても良かったと思います。

それからカフェの部分。こうした建物が単体で応募されてくるケースもありますけれども、カフェの敷地に緑をうまく活かし、背後にある山の緑も借景として取り入れている。そして、ドッグランも含まれていて、まさに理想的な空間構成になっていました。もともとパチンコ店があった場所とは思えないほど、新しい景観を生み出してくれていると感じます。

一関市の景観まちづくり賞の中でも、これまで何年も見てきた中で、とても完成度の高い、良い作品の一つだと思いました。

冬季は営業されないということでしたが、私も寒いところに住んでいますので、11月から3月までは見られなくても良いです位の気持ちで、春・夏・秋の季節にあれだけ美しい景観を見せてくれれば、それだけで十分幸せだと、心からそう感じました。

○一関市景観審議会委員名簿

会長	北原 啓司	弘前大学教育学部 特任教授
職務代理	三宅 諭	三重大学大学院工学研究科建築学専攻 教授
委員	菊池 薫	一関市文化財調査委員
委員	船山 賢治	一関商工会議所 専務理事
委員	佐々木 賢治	(一社)一関市観光協会 会長
委員	村上 恵志	(一社)岩手県建築士会 一関支部長
委員	小野寺 浩樹	一関市協働推進会議 会長
委員	伊藤 周平	千厩支所推薦
委員	橋本 温子	川崎支所推薦
委員	高橋 浩	国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所 計画課長
委員	阿部 忠	岩手県県土整備部都市計画課 景観まちづくり課長
委員	大星 学	岩手県県南広域振興局土木部一関土木センター 建築指導課長
委員	原田 哲	まちづくりスタッフ
委員	高橋 系子	まちづくりスタッフ



一関市 建設部 都市整備課

〒021-8501

一関市竹山町7番2号

TEL 0191-21-8543